



「転勤族ねっと」 引越マニュアル

Ver1.1 2011/4/9 転妻コンサルタント Suai 編

Ver.2.0 2018/3/1 TKT48 引越部 編

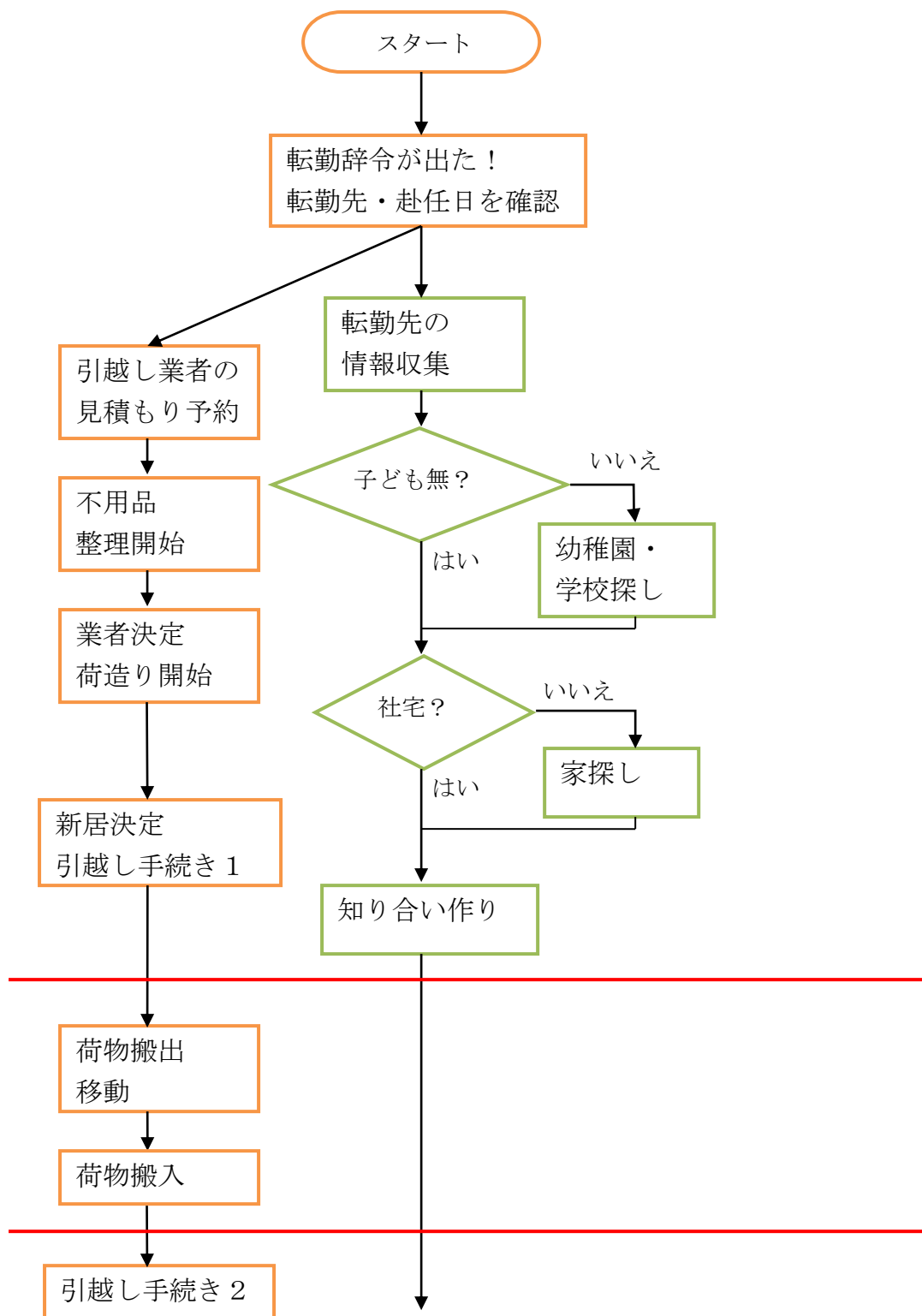
<http://www.tenkinzoku.net/move.html>

<http://tkt48.net/>

目次

1. 転勤辞令～引越しまでの流れ	3
2. 転勤ノート作成.....	4
3. 転勤先の情報収集.....	5
3-1. 幼稚園・小学校の探し方	6
3-2. 家の探し方.....	9
4. 引越し業者見積もり予約、業者決定.....	11
5. 荷造り開始、不用品整理.....	12
6. 新居決定、引越し手続き①（引越し前）	14
7. 荷物搬出、移動.....	15
8. 荷物搬入.....	16
9. 引越し手続き②（引越し後）	16

1. 転勤辞令～引越しまでの流れ



2. 転勤ノート作成

- (1) A4 ノートを用意する。
- (2) 最初の見開きページには、転勤の発令日・引越し費用など、概要を書きこむ。

→前回の引越しスケジュールを、一目で確認できるようにしておく。

※旧居と新居が 200km を超える場合は、荷物搬入は翌日となる。

2018/2 追記：現在は 200km 超えなくても、搬入が翌日となる業者もある。

	転勤確定	新居決定	赴任日	搬出	搬入	業者	費用
5 大阪→ 東京	3/18	3/19	4/1	4/2	4/3	A 社	30 万

- (3) 住所変更が必要なもの、手続きが必要なものを全て書き出す。

※引越し前に行っておきたい場所、買っておきたいものも書き出しておく。

最優先：NTT、プロバイダー、郵便局、電気（新旧）、ガス（新旧）、水道（新旧）

なるべく早め：携帯電話、銀行、クレジットカード、医療&年金保険、自動車保険

そのうち：NHK、新聞、母校関係、通販、全国チェーンのお店のポイントカード

- (4) 1 行に 1 日、転勤確定日から引越し日 + 7 日までの日にちを記載する。

- ・最終「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」の収集日を記載しておく。
- ・予定が決定した都度、記載する。
- ・ノートに書いておくことで、次回の引越し時に役立つ。

- (5) 引越し業者の見積もり情報を書く。

※ダンボール代はサービスと言われた場合、他の料金に上乗せされていないか確認。

A 社	荷物	運賃	作業員	梱包代	ダンボール
	25 m ³ ・4t	130100	16000×(3+4)	28000	20600 (@350)
	エアコン	洗濯機	その他	高速	合計 (割引後)
	20000	4500	29000	12750	300000

- (6) 荷造りする際に、ダンボールに番号・内容を書き、ノートに控える。

例：「S 1 アルバム」「M1 カバン」

- (7) 「手で運ぶ」「車で運ぶ」「転居先で買い替え」するものを書き出す。

3. 転勤先の情報収集

- (1) 大型道路地図、携帯型地図、旅行誌、地元情報誌を購入する。
例：スーパーマップル、まっぷる街ナビ、るるぶ、〇〇Walker
- (2) 「転勤族ねっと」HPの「転勤先を調べる」の「総合」および地域別のページを見て、転勤先の情報を調べる。必要な情報がない場合は、「〇〇市（必要な情報）」で調べる。
例：「世田谷区 子育て支援」
- (3) 必要に応じて、「転勤族の多く住む地域」を調べる。
- (4) 「転勤族ねっと」HPの「日常生活を調べる」内「学校情報を調べる」にて受験情報などを調べる。また、市区町村HPから学校情報を確認し、新居または新勤務先に近い学校をピックアップする。並行して、facebookなどSNS上のコミュニティ、知人等から情報を収集する。
- (5) 新居が決定した場合、転居後すぐに必要となる「役所」「病院」等の場所を確認する。

3-1. 幼稚園・小学校の探し方

<幼稚園・認定こども園（1号認定）>

- (1) 市区町村のHPや市区町村発行の子育て情報誌から幼稚園一覧表を手に入れる。
 - ・市区町村によっては各幼稚園の空き状況を公開しているところがある。
 - ・幼稚園によってはHPもあるので、どんな園なのか（宗教や園の特色など）、給食の回数、バス通園を考えている場合には送迎エリアも重要。
 - ・引っ越し後に働くことを考えている人は、預かり保育の有無や料金も確認する。金額によっては保育園（2号認定）のほうが安くなる場合もある。

- (2) 候補の幼稚園が決まったら、園に電話をかけて、空き状況の確認と入園可能かの確認をする。
 - ・入園決定前にお子さんと一緒に見学をする。園の先生にお子さんのことを知ってもらうこともできるし、お子さんが園に馴染めるかどうかを判断するのに必要不可欠。
 - ・バス通園希望の場合には、バス利用できるかの確認。
 - ・預かり保育についても利用するかしないかに関わらず聞いておくと、いざというときに利用できるので、忘れずに確認。

- (3) 入園する幼稚園が決まったら、入園に必要な物品を確認し、購入または製作する。
 - ・幼稚園によっては、手作りの持ち物を指定されることもあるので、作るのが難しい場合には代行してくれるお店を探す。（手芸屋さんによっては生地を買いと工賃を上乗せして作ってくれるところもある。）

ポイント！

- ① 幼稚園を決めてから住む場所を探すか、住む場所を決めてから幼稚園を探すかで順番は前後するが、転勤が決まったらその市区町村の幼稚園一覧表は手に入れる。
- ② バス通園希望の場合には、幼稚園を決めてから住む場所を決めたほうが失敗しない。
- ③ 子育て支援の助成金がある市区町村もある。幼稚園入園の手続きと一緒にできるので、幼稚園または市区町村役場に確認する。

<認可保育園（2号認定、3号認定）>

- (1) 市区町村のHPや市区町村発行の子育て情報誌から保育園一覧表を手に入れる。
 - ・市区町村によっては各保育園の空き状況を公開しているところがある。
- (2) 市区町村役所に行き、書類をもらってくる。そして以下の書類を記入漏れや不備なく揃える。
 - ・ 入園申込書
 - ・ 保護者の状況を証明する書類
 - ・ 勤務証明書
 - ・ 診断書、障害者手帳（病気や障がいがある場合）
 - ・ 母子手帳（出産の場合）
 - ・ 診断書など（介護の場合）
 - ・ 在学証明書、時間割（通学の場合）
 - ・ 所得を証明する書類
 - ・ 前年分源泉徴収票または前年分確定申告書
 - ・ 印鑑
 - ・ 兄弟姉妹が幼稚園に通う場合には入園許可書または入園後に在園証明書
- (3) 面接、健康診断を受ける。
- (4) 入園決定すると、保育料や保育機関などの通知がくる。

<小学校>

- (1) 通っている小学校の担任の先生に転校することを伝える。
 - ・ 転校に必要な書類の作成に時間がかかるため、できるだけ早く伝える。引っ越し先が決まっていなくても市区町村が分かっていたら進められる。
- (2) 家が決まったら、学校から必要な書類をもらう。
 - ・ 「在学証明書」と「教科書給付証明書」を学校からもらえる。学校に印鑑を持参の上、受け取る。
 - ・ 学校には引っ越し先の住所を伝える。（引継ぎ等がある場合もあり）
- (3) 転校先の小学校に、「転入学通知書」「在学証明書」「教科書給付証明書」の3つを準備する。

「転入学通知書」

- ・引っ越しする前に転出先の市区町村役所から「転出証明書」を受け取る。
- ・引っ越しが終わったら、市区町村役所に転入届を提出する。
- ・学校関係の窓口（教育委員会）に行き、通っていた学校からもらった「在学証明書」提示し、「転入学通知書」をもらう。このときに、新たに通う学校を教えてもらう。

(4) 転校する予定の学校に電話をして、転入学手続きに行く日やその時に必要なものを聞く。

- ・手続きする日に、子どもが新しい学校に馴染めるように担任の先生と面会できる時間を設けてもらえるようお願いし、転入学前に一緒に学校訪問できるようにする。

(5) 新しい学校の体操着や学校用品を準備する。

- ・手続きの際に、引き続き使っているもの、新たに購入が必要なものの確認する。
- ・購入の際には、取扱店などを聞き忘れないようにする。

(6) 仕事をする際には、小学生は放課後、児童館や児童クラブに通うことになるので、家から通える場所にあるかを確認する。市町村が主体のところと民間が主体のところがあり料金が変わってくるので、事前に確認する。

※ 特別支援学級に在学または入学する場合には、教育委員会の特別支援教育関係の窓口で電話をする。転出先の学校の特別支援学級の有無や転入学に必要な書類を聞いて準備する。転入学前に面談を求められるので、上記の書類以外に、事前に医療機関の診断書や発達検査（心理検査）の結果を手に入れておく。

※ 入学のタイミングで転勤の場合は、転出する市区町村教育委員会に転出の旨を伝えたと、転入先の市区町村教育委員会に住む場所と転入する日（予定でも可）を伝えて入学通知書をもらう。その際、転出先で受けた「就学児健診」の結果が必要になる場合があるので、電話で確認すること。転出先で既にもらっている入学通知書は転出届を出す窓口で提出する。

ポイント！

- ① 住む場所が決まっていなくても、在籍する小学校には転出することを早めに伝えること。バス通園希望の場合には、幼稚園を決めてから住む場所を決めたほうが失敗しない。
- ② 転勤が決まったら、転出先の教育委員会の所在地や電話番号を調べておく。
- ③ 「転入学通知書」「在学証明書」「教科書給付証明書」を揃えること。

3-2. 家の探し方

住みたいエリアを絞る。譲れない条件を書き出し、優先順位をつける。

例：①通勤のしやすさ、②日常生活上の住みやすさ、③地域社会への溶け込みやすさ

ポイント！

【通勤のしやすさ】

- ① 地方転勤の場合 → 職場になるべく近いエリア、道路の込み具合、駐車場の有無。
- ② 都会転勤の場合 → 乗り換えの少なさ、社内の混み具合、特急が止まるか。
- ③ 可能であれば、実際の出勤時間と同じ位の時間に下見ができると尚よい。

【日常生活の住みやすさ】

- ① 治安のよさ → 街灯、交番、大通り、繁華街や博打の有無。
- ② 買い物しやすさ → スーパー、コンビニ、商店街の有無。
※子供が小さい場合は、ネットスーパー対応のスーパーがあると便利
- ③ 病院・福祉サービス → 子供医療費補助や、託児費用補助、公園など。
- ④ 緊急・災害時 → 地盤、標高、避難場所をハザードマップで確認。

ポイント！

【地域への溶け込みやすさ】

- ① 交流スペースの確認 → 役場、カルチャーセンター、公園、サークル、習い事教室、コワーキングスペース等転勤先に早くなじめるきっかけとなるような施設の有無を確認。
- ② 復職希望の場合 → 住まいの近くに、希望する求人情報が出ているかどうか。

<住みたい物件の探し方（不動産会社の決め方）>

- (1) 会社指定の業者がある場合は指示に従う。
会社から指定はない場合、会社の先輩が使った不動産業者を教えてくださいと早い。
- (2) 指定が無い場合、インターネット上の住まい探しサイトを利用する。
その際、「住まいのまとめサイト」と、「企業の専門サイト」の違いを理解する。

まとめサイト例：SUUMO、HOMES 等

専門サイト例：minimini、タウンハウジング、エイブル、アパマンショップ等

ポイント！

【住まいのまとめサイトと企業の専門サイトの違い】

・住まいのまとめサイトは、複数の不動産会社の物件情報が集約掲載されているサイト。

【利用メリット】

大手～地元の不動産会社まで、複数の不動産会社の一括比較が可能。

【利用デメリット】

見積もり・内見を行う際、複数の不動産会社とやり取りが発生する。内見をはしごするにも、1日最大2～3件が限度。時間的にロスが発生しやすい。

・企業の専門サイトは、各不動産会社が紹介できる物件を細かく探せるサイト。

【利用メリット】

まとめサイトに掲載されていない、不動産会社の物件を紹介してもらえる。

【利用デメリット】

気に入った物件が、他社で掲載されている場合。また、他社の専売契約の場合は紹介してもらえない。ただし、他社掲載中の物件も、場合によっては紹介してもらえる場合があるので、直接会社に聞いてみるとよい。

(3) **【裏技】** 検索ワードに直接、「分譲賃貸」「UR賃貸」等入力して探す。

ポイント！

検索ワードに、直接「分譲賃貸」「UR」「公団」等入力して検索。

→ 本来分譲マンションとして購入された、質の高いマンションに手ごろな価格で住める場合がある。多いのは、オーナーの転勤等の事情で住めない間だけ貸すケース、投資目的で購入された賃貸物件のケース。

住める期間が3年・5年と決まっている場合もあるが、条件のよいきれいな物件に住めるためタイミングや、入居条件をクリアすれば、よい物件に格安で住める場合がある。

4. 引越し業者見積もり予約、業者決定

(1) 引越し業者に見積もりの予約を入れる。

・会社で手配してくれる場合

→夫経由で会社の担当者に確認。

・自分で手配する場合

→2～3社選ぶ。

ポイントを溜めているクレジットカード会社の提携サービスを利用すると便利。

例：VISA、ANA

ポイント！

- ① HPから見積もり予約後、すぐに連絡が来るか。 ← いざという時の対応も早い。
- ② 食器の梱包が簡単か。 ← 荷造り・荷ほどきの際、食器の梱包が一番大変だから。
- ③ 色々なパックがあるか（全てお任せ、荷ほどきは自分で…等）。
- ④ 見積もりダンボール数が、想定ダンボール数（前回引越分+今回増加分）とほぼ同じか。

(2) 本命の業者は最後に来てもらうようにする。

(3) 引越し費用の値引き交渉を行う。

ポイント！

- ① 平日搬出。 ← 3月下旬～4月第1週の土日の引越しピーク時が一番高い。
- ② 「午前時間指定」 ← 「午後時間指定無し」の方が安い、いつ来るかわからないから。
- ③ 転居先が1階なら、作業員を1人減らす事が可能。
- ④ ダンボールは必要数だけ。 ← 余っても時間の都合で引き取ってもらえない事が多い。
- ⑤ 安過ぎる業者は、荷物搬入を外部委託しているところもある。

(4) 業者が決定したら、搬出・搬入日の予約をする。

この段階では、転居先は決定していなくても、転勤先のエリアを伝えれば大丈夫。

5. 荷造り開始、不用品整理

(1) 最初に仕分け

車で運ぶもの（輸送手続きをせず、自分で運転して移動する場合）

荷物搬出後&荷物搬入前に掃除をしておきたい、新居到着が夜になる等、状況に応じて。業者に運んでもらう場合は、最初に開けるダンボールに詰め、「急」マークを書く。

- ・トイレセット（トイレスリッパ・トイレットペーパー）
- ・カーテン、ルームライト
- ・掃除セット（掃除機・洗剤・ぞうきん・バケツ・ゴム手袋・ハンディモップ・大型ゴミ箱）
- ・台所セット（湯沸かし器・マグカップ・割り箸・台所洗剤&スポンジ・ハンドソープ・布巾&布巾かけ・キッチンペーパー）

手で運ぶもの

- ・引越必需品（ボールペン・メモ帳・封筒・クリップ・クリアファイル・計算機・マジック・ガムテープ・布テープ・ビニールヒモ・セロテープ・ハサミ・カッター・メジャー・ドライバー・小物を整理する袋&ゴミ袋・雑巾&台布巾&タオル・トイレットペーパー・スリッパ・ドアストッパー）
→ 刃物は飛行機に持ち込めないので注意。
- ・貴重品、現金10万円（本帰国時などクレジットカードがない場合）
- ・ノートパソコンセット（電話機・延長コード・無線LAN・LANケーブル）
- ・しばらくホテル生活する場合は、普段使いの食器+1週間旅行の時に必要なもの

(2) 荷造りのポイント

- ① 箱の外に中身を書いておく。
- ② 箱の底は、ガムテープをI型ではなく十字型に貼る。
- ③ 重いものは小さな箱、軽いものは大きな箱に入れる。
 - ・洋服は、皺になるのでハンガーボックスを利用するか、前日に詰める。
 - ・本は、Sサイズの一番小さなダンボールに、背表紙を上にして、並べるように詰める。
空いたところには、軽いもの（タオルなど）を詰める。
 - ・雑貨は、エアクッションで1つずつ包む。
小さな雑貨は、小さめの箱に入れてから、ダンボールに入れる。
 - ・家電のコード類は、接続する場所や名称をシールに記載し貼り付けておく。

- ④ 台所用品は、まず「いつまで自炊するか」決めてから、梱包する。
なお、前日には冷蔵庫の電源を抜き水切りしないといけない。(加湿器も同様。)
調味料を新居へ持っていく場合は、クーラーボックスを用意しておく。
- ・液体の入ったビン類は、口にラップをかけてゴムで縛る。
 - ・食器は梱包材で包んでから、立てて箱に入れると割れにくい。
- ⑤ デスクトップパソコンの場合、必ずデータをバックアップする。
- ⑥ 植木鉢は2日前から水やりを控え、ダンボールの口を開けて入れておく。

(3) 不用品整理

- ① 大型ゴミ袋をたくさん用意しておく。
※とはいえ、引っ越し先の市区町村によっては指定のゴミ袋を買って捨てなくては
いけないので、多く買い過ぎないように注意する。
- ・「捨てるもの」「リサイクルに出せるもの」に分ける。
- ② 「未練箱」と書いたダンボールを用意する。
- ・迷ったら「未練箱」へ。
 - ・「未練箱」はなるべく捨てていく。
- 未練があるなら引っ越し先へ持っていき、次回引っ越し時に未開封であれば捨てる。
- ③ 事前に、リサイクル業者に不用品の引取の予約を入れておく。
※荷物搬出当日がゴミ収集日ではない場合、家具・家電を捨てる場合に必要。
灯油が入ったポリタンクは引き取ってもらえないので、事前にガソリンスタンドへ。

※2017年時点で、見積もりの際に引っ越し業者に確認したら家具家電は引き取って
もらえないことが多かった。リサイクル業者も春は忙しいので、早めに日程を
伝えて押さえた方がいい。

6. 新居決定、引越し手続き①（引越し前）

(1) 新居の住所が決定したら、すみやかに NTT の電話の手続きを行う。

※携帯電話や、プロバイダのひかり電話を使用する場合は、不要。

転居先が「東日本」の場合（北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟）

NTT 東日本 http://web116.jp/shop/iten/iten_00.html

転居先が「西日本」の場合（上記以外）

NTT 西日本 <http://www.ntt-west.co.jp/denwa/mousikomi/move/>

(2) インターネットプロバイダの手続きを行う。

「転勤族ねっと」特集「インターネットプロバイダの選び方」

<http://www.tenkinzoku.net/special/1003.html>

現在のプロバイダが、全国で使える場合

(OCN・Yahoo!BB・@nifty・so-net・BIGLOBE・ぷらら・AHASHI ネットなど)

- ・新居の電話番号を用いて、該当プロバイダが利用可能か確認する。
- ・NTT のフレッツ光回線はマンション内で数が決まっているため、早めに申し込む。
- ・NTT のフレッツ光回線が一杯だった場合は、KDDI の「au ひかり」を利用するが、現在のプロバイダで利用可能か確認する。

現在のプロバイダが、全国で使えない場合（関西電力の eo（イオ）光など）

または、上記で「使用不可」とわかった場合

- ・各地の電力会社系プロバイダを探す。
- ・各地のケーブルテレビの回線を利用する。
- ・高速モバイル（データ）通信を利用する。

(3) 転出届等の手続きを行う。

「転勤族ねっと」引越チェックリスト <http://www.tenkinzoku.net/doc/check1.pdf>

7. 荷物搬出、移動

- (1) 荷造りを終えたダンボールは、なるべく1部屋にまとめておく。
- (2) 小さな家電は、購入時の箱に詰めておく。
- (3) すぐに新居に入ることができない場合は、事前にホテルなどの手配を行う。

荷物搬出例：

- 06:00 ゴミ出し、カーテン・布団・手荷物まとめ。
- 08:00 8時～12時の午前指定だったが8時ちょうどに業者到着。
3人手配で実際は2人で作業（1人はドライバー）。
- 10:00 2時間で終了。積み残しの確認をし、3人分のお茶代を渡す。室内の最終掃除。
- 10:30 不動産屋さん or 大家さんと退去チェック。ブレーカーと元栓チェック。
- 11:00 転居先へ移動。
- 18:00 転居先到着、新居の場所チェック。
- 18:30 ホテル着。

8. 荷物搬入

荷物搬入例：

- 08:30 入居手続き。
- 09:30 夫に市役所に転入届を出しに行ってもらう。(平日の場合)
物の配置を考えつつ大掃除。トイレ・お風呂をすぐ使える状態にしておく。
- 13:50 午後指定だったが、少し遅れて業者到着。搬入時は4人。
- 16:20 2時間半で終了。電気・水道・ガスのチェック。
- 18:00 シワになる洋服だけハンガーにかけ、残りの荷ほどきは少しずつ行う。

9. 引越し手続き②(引越し後)

- (1) インターネットの設定
- (2) エアコンと洗濯機取り付け(たいてい荷物搬入の翌日)
- (3) 各種変更手続き

「転勤族ねっと」引越チェックリスト <http://www.tenkinzoku.net/doc/check1.pdf>